

令和 7 年度

機械設計技術者試験

1 級 試験問題 Ⅲ

第 3 時限 15:00 ~ 16:30 (90 分)

5. 小論文

令和 7 年 11 月 16 日実施

主催：一般社団法人 **日本機械設計工業会**

〔小論文課題〕

次の課題の中から 1 つを選び、機械設計技術者の立場で、技術面、管理運営面、後進の教育面の視点から、その対応策について 1200 字から 1500 字の間にまとめよ。

1. 「マクロの眼」「ミクロの眼」について

リーダーは自社、自部門の進行方向の全体を見渡して、予想される状況・環境の変化を見極める「マクロの眼」と目先の状況、環境の変化に瞬時に対応できる「ミクロの眼」の複眼を持って事にあたることが要求されている。そして目先に山積している課題に対してその場その場の状況、環境変化を洞察できる力を養うことが肝心である。これまでの業務経験の中で、「マクロの眼」「ミクロの眼」を意識して課題解決した実践例を例にとって述べなさい。

2. 独創的技術者の資質について

一般的にいわれる創造性開発について、新原理や新機構の発明・発見につながる「原理追及型」の創造開発とそれをベースにして応用開発や応用製品の創出につながる「応用志向型」の創造開発の 2 つがある。独創性を発揮するためには「個の存在」の重要性と共にその人の気質面が取り上げられることが多いが、あなたが考える独創的技術者の資質について述べなさい。

3. 企業体が変化していく中での部下の育成法について

企業の環境状況が急激に変化している中で、部下の成長と組織体の発展へと確実に結びつくための部下の育成方法について、これまでの「画一的育て方」と比較してあなたの考えを述べなさい。

